

大宮駅周辺帰宅困難者対策協議会の概要・取組状況等

1 概 要

- ◆ 活動エリア : 大宮駅及びさいたま新都心駅周辺
- ◆ 会長 : JR大宮駅副駅長
- ◆ 会員数 : 24人

駅	事業者	行政	その他
3人	10人	10人	1人

- ◆ 乗降客数 JR大宮駅 244,393人/日(令和5年度)
JRさいたま新都心駅 52,622人/日(〃)
- ◆ 地域の特徴
JR在来線・新幹線、東武鉄道、ニューシャトルと、多くの路線が乗り入れ、鉄道交通の結節点となっている。
- ◆ 誘導マニュアル等の策定の有無
一時滞在施設運営ガイドライン(さいたま市版)
※新型コロナウイルス感染症5類移行のため改定
一時滞在施設マップ

2 今年度の活動内容

- ◆ 会議の開催回数: 年間2回
- ◆ 備蓄状況
被害想定ของさいたま市内での帰宅困難者数14,249人に対して、災害用ビスケット3食分、飲料水475ml×3本、保温シート1枚、非常用排便袋5袋を備蓄。
(さいたま市で予算措置)
- ◆ その他の活動 施設独自の開設訓練の支援

3 今年度の訓練内容

- ◆ 訓練実施日 : 令和6年11月19日(火)
※浦和駅周辺帰宅困難者対策協議会も参加
実施場所は大宮駅・浦和駅で交互に開催
- ◆ 実施場所 : 大宮駅構内、市民会館おおみや
- ◆ 参加者 : 100名程度
(協議会関係者、一時滞在施設関係者等)
- ◆ 訓練項目・概要
 - ①大宮駅構内利用者保護訓練
 - ②帰宅困難者誘導訓練
 - ③一時滞在施設開設・受入訓練《概要》
滞留者への対応、一時滞在施設運営ガイドラインをもとに、施設管理者による円滑な一時滞在施設の開設・受入を実施。
※その他、年1回、情報収集伝達訓練を実施。